



第403号
7月
 2020年
 〒461-0004
 名古屋市中区東区2丁目6-35
 カトリック名古屋教区広報委員会
 「教区ニュース」編集部
 電話 (052) 935-2223
 FAX (052) 935-2254
 印刷所 株式会社 荒川印刷
 毎月第1日曜日発行



ラウダート・シ特別年

2020年5月24日～2021年5月24日

教区ホームページ

福音のひびき

7月の説教者

5日	年間第14主日 真野 和夫 (名古屋教区)
12日	年間第15主日 ナジ・エデルベルトウス (恵方町教会)
19日	年間第16主日 椎尾 匡文 (高蔵寺教会)
26日	年間第17主日 アントニー・ビ・アンニン (東海教会)

日本の教会の兄弟姉妹と
 すべての善意ある人々へ

日本のカトリック司教団は、戦後50年に『平和への決意』¹、60年に『非暴力による平和への道』²、今こそ預言者としての役割を³、そして70年に『平和を実現する人は幸い』⁴、今こそ武器によらない平和を⁵と、その時々国内外の情勢に鑑みながら平和メッセージを発表しました。

戦後75年 日本カトリック司教団平和メッセージ

すべてのいのちを守るため

平和は希望の道のり

2019年の教皇フランシスコ訪日から明けた今年、太平洋戦争での沖繩戦、広島・長崎の被爆、戦争の終結、そして国際連合創設75周年です。世界は今、新冷戦、東アジアの不安定な情勢、核の脅威、地球環境の危機などが予断をゆるさない状況にあります。



1. 魂の塔に思いを馳せる
 終戦の年、沖繩は本土決戦を一日でも遅らせるための「捨石」とされ、住民を巻き込んだ悲惨な地上戦が繰り広げられました。歴史上、最も凄惨な戦闘と言われるこの沖繩戦では、日米両軍が我が物顔でこの小さな島のありとあらゆるものに対し、蹂躪の限りを尽くしました。鉄の暴風ともよばれる激烈な戦闘の後には、戦争犠牲者の遺骨が累々と野ざらしにされていました。

この反戦平和への希求の原点、不戦の誓いの原点ともなっているのです。沖繩県平和祈念資料館の出口に、「むすびのことば」として次のように刻まれています。

(略) 戦争をおこすのは たしかに 人間です。しかし、それ以上に 戦争を許さない努力のできるのも 私たち 人間 ではないでしょうか (略) これあまりにも大きな代償を払って得た ゆずることのでき

人のいのちは何ものにも替えがたいとする沖繩の「ヌチドゥ宝」の心と、「すべてのいのちを守るため」という教皇フランシスコ訪日のテーマは重なっています。「いのちと美に満ちているこの世界は、何よりも、わたしたちに先立って存在される創造主からの、すばらしい贈り物」⁵です。「わたしたちが、自分たち自身のいのちを真に気遣い、自然とのかかわりをも真に気遣うことは、友愛、正義、他者への誠実と不可分の関係にある」(回勅「ラウダート・シ」70)の⁶です。それゆ

え、戦争だけは、どんな理由があっても絶対に起こしてはなりません。わたしたちキリスト者は、こうした沖繩の人々の叫びと教皇フランシスコの言葉に共鳴し、戦争放棄と恒久平和を訴えます。「すべての人との平和」⁷こそ、神の望みだからです。

司教団メッセージについて

教区司教 松浦悟郎

戦後75年にあたる今年、日本カトリック司教団は「すべてのいのちを守るため―平和は希望の道のり―」と題する平和メッセージを発表しました。毎年、8月の平和旬間に向けて会長談話が発表されますが、今年6月23日沖繩慰霊の日に合わせて、司教団として全員で沖繩に行き(あいにく、新型コロナウイルスの問題で沖繩に集うことができませんでした)、そこでメッセージを発表することになりました。

このように特別な形でメッセージを発表するのは、今年が戦後75年であること、また国際連合創設75年、日本の

植民地政策と深く関係する朝鮮戦争開始70年、そして昨年の教皇フランシスコの訪日に応えるという意味があります。歴代の教皇は、国連の役割の重要性を常に強調してきました。しかし、近年、自国中心主義の台頭とともに、これまで世界をつないできた「人権と平和」という共通の価値観が壊れつつあり、また、米中の新たな冷戦の始まり

は、これからの世界の在り方に影を落とすとしています。このような状況の中で、日本がどのような立場と役割を果たしていくかはとても重要なことです。特に、緊張状態にある東北アジアの中で、「戦力を持たず、戦争しない」と誓った日本が、その方向を保つか変更するかで大きな影響があります。しかし、残念ながら、過去の過ちと真摯な戦争の体験を持ち、今もなお基地の苦しみの中にある沖繩の人々に連帯しながら、共に「ヌチドゥ宝(いのちの塔から)」の思いで、心から平和を願い、祈り、行動しましょう。

建設が続いています。訪日した教皇は、「軍備拡張競争は、……貴重な資源の無駄遣いです。……武器の製造、改良、維持、商いに財が費やされ、築かれ、日ごと武器は、いつそう破壊的になっていきます。これらは途方もないテロ行為です」¹¹。戦争のために原子力を使用することはない世界と総合的軍縮への展望¹²。国際会議を主催しました。その場で教皇

は次のように述べました。「核兵器の使用と威嚇のみならず、その保有そのものも断固として非難されなければなりません。この点で極めて重要なのは、広島と長崎の被爆者、ならびに核実験の被害者の証言です。彼らの預言的な声、次世代への警告として役立つよう願っています。」「核抑止論」については、聖ヨハネ23世教皇がすでに回勅『地上の平和』(1963年)の中で次のように述べています。「軍備の均衡が平和の条件であるという理解を、真の平和は相互の信頼の上にしか構築できないという原則に置き換える必要があります。わたしは、これが到達可能な目標であることを主張します」(60)。

(1面の続き)
なく、わたしたちの共通の家の未来に
おけるあらゆる可能性に反します。原
子力の戦争目的の使用は、倫理に反し
ます。……核兵器の所有も倫理に反し
ます」¹²。

そして、教皇はすべての人々に呼び
かけます。「核兵器から解放された平
和な世界。……この理想を実現するに
は、すべての人の参加が必要です。個々
人、宗教団体、市民社会、核兵器保有
国も非保有国も、軍隊も民間も、国際
機関もそうです。核兵器の脅威に対し
ては、一致団結して具体性をもって応
じなくてはなりません。」カトリック
教会にとって、「人々の間と国家間の
平和の実現に向けて努力することは、
「神に對し、そしてこの地上のあらゆる
人に対する義務なのです。」教会は、
「核兵器禁止条約を含め、核軍縮と核
不拡散に関する主要な国際的な法的原
則に則り、飽くことなく、迅速に行動
し、訴えていくことでしょう」¹³。

教皇のこの発言に呼応して、日本カ
トリック司教協議会は、昨年12月、会
長名の文書で、首相宛てに「核兵器禁
止条約への署名・批准を求める要請」
を行いました。米国外務省も教皇フラ
ンシスコの広島・長崎での発言を支持
し、「米国は非核化・軍縮の先頭に立
つべきである」と政府に働きかけてい
くとの声明を発表しました¹⁴。またカ
ナダとドイツの司教団¹⁵は、すでに
昨年、パチカンの核兵器廃絶方針を支持
する声明を出していましたが、最近
の教皇の姿勢に促されて、核抑止政策
に甘んじてきた態度を改めると表明し
ています。

4. 平和は希望の道のり
今年、朝鮮戦争開戦70周年でもあ
ります。同じ民族が戦つたという悲劇も
35年に及んだ日本による朝鮮統治政策
と無関係ではありません。朝鮮戦争は
今なお禍根を残し、日本を含む東アジ
アは冷戦体制を引きずり、大国の利害
の狭間で戦争の火種を抱えており、平
和への進展が不透明のままです。東ア
ジアの平和構築にいかんにか貢献して
いかば、わたしたち日本の教会が教皇フ
ランシスコの言葉に従うことができる
か否かを明らかにする試金石といえ

ましよう。そのためにもわたしたちは
こうした過去としっかりと向き合い、
将来に対する責任を担い続ける決意を
新たにするものです。

教皇は今年の「世界平和の日」メッ
セージで、平和への歩みは「障害や試
練に直面する中で歩む希望の道のり」
つまり、「真理と正義を求め、犠牲者
の記憶を尊重し、報復よりもはるかに
強い共通の希望に向けて一歩ずつ切り
開いていく」という、忍耐力を要する
作業」と述べました。そして、「たと
え克服できそうもない障害に直面して
も、わたしたちを踏み出させ、前に進
む翼を与えてくれる」希望の徳をもつ
て、「神」という共通の源に根差した
対話と相互信頼のうちに実践される真
の兄弟愛を追い求めなければなりません。
平和への願いは、人間の心に深く
刻まれていきます」と、平和を実現する
ために、希望の翼を広げよう促しま
した。パウロが、「キリストの平和が
あなたがたの心を支配するようにしな
さい」(コロサイ3・15)と勧めてい
るとおりです。

激戦地、安里に建つ教会に集う方々、
および各地の共同体と心をひとつにし
て、神に願ひ求めます。教皇フランシ
スコの日本訪問によってわたしたちが
いただいた平和への意志と希望に、イ
エス・キリストの復活のいのちと聖霊
の息吹が豊かに注がれますように。

2020年6月23日
日本カトリック司教団

- 注
- 1 司教団メッセージ『平和の決意』
1995年
 - 2 司教団『戦後60年平和メッセージ』
「非暴力による平和への道」——今こ
そ預言者としての役割を」200
5年
 - 3 司教団メッセージ『平和を実現す
る人は幸い——今こそ武力によら
ない平和を』2015年
 - 4 沖繩県平和祈念資料館 展示むす
びのことば
 - 5 教皇フランシスコ「ミサ説教(す
べてのいのちを守るため)」201
9年11月25日、東京・東京ドーム
同上
 - 6 同上
 - 7 ヘブライ12・14。ローマ12・18参照。

名古屋教区平和旬間テーマ

「すべてのいのちを守るため」

平和祈願ミサはブロック単位で

松浦司教は6月4日、
今年の名古屋教区の平和
旬間の取り組み方につ
いて各小教区に「平和旬間
について」との文書を送
り、「すべてのいのちを守
るため」をテーマとするこ
と、平和祈願ミサは各ブ
ロックで行うことを伝え
た。6月の宣教司評議
会が中止となったため、5
月28日開催の司教評議会
常任委員会に諮られた。
詳細は次のとおり。
1. 以下のa)、b)、c)
の3要素を踏まえて
準備すること。
a) 昨年の教皇訪日の
テーマをそのまま今
年の平和旬間のテー
マとした。
・教皇が日本で残した
メッセージを参考とし
てテーマを深める。
・日本の教会は教皇の訪
日に応じて、9月は「す
べてのいのちを守るため
の月間」と定めた。【6
月号既報】
b) 戦後75年にあたって
司教団平和メッセージ
が6月23日に発表され
る。【1・2面に掲載】
・当初、司教団は沖繩に
集まってこの発表をする
予定だった。
c) 教皇庁広報局は20
20年5月24日・21年
5月24日を「特別ラウ
ダート・シ記念年間」
と定めた。環境問題を
扱った教皇フランシスコ
の回顧「ラウダート・シ」
発表5周年を記念する。
【6月号参照】
・世界が新型コロナウイルス
のパンデミックとたた
かう中、同回顧のメッ
セージは「2015年当
時と変わらず、今日も
預言的」と広報局は指
摘する。
d) 参考資料：カトリック中
央協議会発行『すべて
のいのちを守るため——
教皇フランシスコ訪
日講話集』同『いのち
へのまなざし』(増補新
版)
2. 平和祈願ミサ・企画
は各ブロックで、8
月9日(日)午後2時
から行う。
・カテドラルでの教区行
事としては行わない。
・独自の企画をする場合
上記日程にこだわらな
くてもよい。
・同じ時間に行うことで
教区が一つになって祈
ることを目指す。
・ミサでは3密を避ける
工夫をする。
例a) 平和旬間期間中、
各小教区・グループ・
個人がテーマを決め
て取り組み、プロッ
クでのミサには代表
者だけが参加し、報
告・祈り・奉納によつ
て共有を図る。
例b) ブロックでのミ
サは代表者だけとし、
同時刻に各小教区で
もミサ(あるいは祈
り)をする。

福岡教区ヨゼフ・アベイヤ司教着座式

「キリストと人々に情熱をかけて生きる」

福岡教区・大名町教会
においてヨゼフ・アベ
イヤ司教の着座式ミサが5
月17日に非公開にて行
われた。説教でアベイヤ
司教は「キリストと人々に
情熱をかけて生きる奉仕
者として歩みたい」と決
意を表明した。また「喜
びにあふれる、人を惹き
付けるような教会をめざ
して、信徒、修道者、司
祭、司教が共に歩んでい
きましょう」と語った。
司教着座式は、通常であ
れば全国から司教が集ま
り教区の信者らが会場を
埋め尽くして共に祝うと
ころだが、コロナウイル
ス感染症拡大予防のた
め、代表者のみの非公開
での式となった。
教皇フランシスコから
の任命書を読み上げられ
た後、高見大司教が「神
の恵みと聖座の任命に
より、今、ヨゼフ・ア
ベイヤ司教様は福岡司
教区の牧者
になられま
した」と宣
言した。そ
して参加者
の拍手で欲
迎されたア
ベイヤ司教
は、高見大
司教から司
教の象徴で
あるバクル
ス(司教杖)



教皇フランシスコは、
5月31日に新潟教区の司
教に神言修道会のパウロ
成井大司教(46)を任
命したと発表した。
成井被選司教は、現在
ローマの神言修道会総本
部で正義と平和部門の責
任者を務めている。
1973年生まれで愛

新潟教区の新司教に神言会の

成井大司教を任命



知県岩
倉市出
身。86
年神言
会小神
学校に
入り、2000年終生誓
願。01年司教叙階。06年
から13年までカリタス
ジャパン秘書。東日本大

震災被災地の復興支援活
動に携わってきた。13年
より神言修道会総本部の
正義と平和・環境問題部
門を担当し、15年に同部
門責任者を務めている。
新潟教区は2017年
に、菊地功大司教が、東
京教区大司教に着座して
からは空位となってい
た。それまでは菊地大司
教が使徒座管理者を務め
ていた。

すべてのいのちを守るため、

困窮する留学生の生活支援

「困っている人が、困らないように」

(ベトナム語版)

生活に困窮するベトナム人留学生たちに食料品などを支援する南山教会グエン・タン・ヒ神父と名古屋教区ベトナム青年会メンバーたちの活動を紹介します。教区ニュース6月号の記事のベトナム語版です。教会を訪ねてきたベトナム人や身近にいるベトナム人にご紹介ください。



4月は(留学生にとって) 学費が一番多く払わないといけない時なのに

Chén gạo tình thương

Viện trợ thực phẩm trong nạn dịch Virus Corona

Với tình hình lây nhiễm rộng của Virus Corora chúng mới, ngày 16 tháng 5, cha Giu-se Nguyễn Thành Hy (Linh mục tại nhà thờ Nanzan) đã kêu gọi các tình nguyện viên khoảng 15 người, bao gồm các thành viên của Giới trẻ giáo phận Nagoya, người Việt đang làm việc tại Nhật, và các tín hữu công giáo từ các giáo xứ, cùng chung tay làm việc bác ái như là gửi lương thực, thực phẩm và khẩu trang, cho các bạn du học sinh và tu nghiệp sinh đang gặp khó khăn trong lúc này. Đến nay, việc

bác ái này đã thực hiện được ba lần.

Hầu hết, các bạn du học sinh đều phải vừa học vừa làm, nguồn thu nhập chính hiện tại của các bạn là từ các công việc làm thêm ở nhà hàng, quán ăn, hay là cửa hàng tiện lợi. Tuy nhiên, kể từ khi Chính phủ phát lệnh Tuyên bố tình trạng khẩn cấp thì các nhà hàng, quán ăn phải tạm thời ngừng hoạt động. Đồng nghĩa với việc, các bạn du học sinh sẽ phải đối mặt với nhiều khó khăn như việc bị thất nghiệp, chưa kể đến thời hạn đóng tiền học phí cũng nằm trong khoảng thời gian từ tháng 4 đến tháng 5 này. Ngay từ đầu, số tiền tiết kiệm của các du học sinh đã không có là bao nhiêu rồi, mà giờ thì phải đóng tiền học phí, cộng thêm chi phí ăn uống, sinh hoạt (tiền gas, điện, nước,...) nữa, ngay lập tức sẽ bị rơi vào tình trạng vô cùng khó khăn trong cuộc sống.

Vì người Việt Nam thường tự nấu ăn hơn là mua đồ ăn được làm sẵn, nên gạo là thực phẩm không thể thiếu; do đó những vật phẩm hỗ trợ cho một người dùng trong một tháng bao gồm: 5 kg gạo, 1 kg đường, 1 lít dầu ăn, 5 gói mì ăn liền, 2 cái khẩu trang và một số thực phẩm khác. Những vật phẩm này được đóng vào thùng carton, sau đó mang đến bưu điện để gửi, hoặc vận chuyển bằng xe trực tiếp giao cho những ai xin hỗ trợ. Việc gửi những vật phẩm hỗ trợ cho khoảng 200 người thì không dễ dàng chút nào, nhưng nhờ nhiệt huyết của những tình nguyện viên nên hoạt động bác ái được vận hành rất tốt.

Phạm vi gửi tặng vật phẩm không chỉ trong năm tỉnh thuộc GP.Nagoya thôi, mà còn kéo dài đến tỉnh Shizuoka và các tỉnh vùng Kansai. Cha Hy đã nói như sau: “Cách làm Foodbank là suy nghĩ đầu tiên, để mọi người có thể đến lấy những gì mình cần. Nhưng việc sử dụng phương tiện giao thông thời điểm dịch Covid-19 khá khó khăn, vì vậy nên phải gửi bằng đường bưu điện. Đến khi các Thánh lễ được công khai trở lại trong GP.Nagoya (từ đầu tháng 6), vật phẩm sẽ được đặt tại các nhà thờ và mời mọi người đến lấy, như vậy cũng sẽ tiết kiệm được tiền gửi”.

Những ai muốn được hỗ trợ có thể đăng ký tại link này: <https://bit.ly/2Y0FRzu> (thời hạn đến ngày 18 tháng 6). Mẫu đăng ký được viết bằng tiếng Nhật, tiếng Anh và tiếng Việt nên bất cứ ai, không phân biệt quốc tịch hay tôn giáo, cũng đều có thể đăng ký.

「次世代を考える会」よりお知らせ

原発勉強会「後から来る者のため」を2か月に一度、主に第2土曜日に開催していましたが、コロナが十分に終息していない今、秋まで勉強会を休むことにしました。10月には再開したいと考えています。コロナ一色の昨今ですが、福島原発事故では、故郷を奪われた上、経済面、体調面などで、今もお苦しんでいる方々が多くおられます。

自分のこととして、原発のことにいっそう関心をもっていきましょう。

勉強会の再開日は教区ニュースでお伝えします。
次世代を考える会
代表 三本木國喜

2020年度 聖書の学び〈岐阜〉

テーマ **マタイ13章24節～43節**
「刈り入れまで、両方とも育つままにしておきなさい」
日時 7月19日(日) 12:00～16:00
場所 聖マリアの無原罪教育宣教師道会岐阜修道院・聖マリア女学院
〒501-2565 岐阜市福富201
交通 JR岐阜駅から市バス12番バス乗場～三田洞バス停下車
乗車時に電話を下さい。バス停で待っています。自動車
で来られる方は、聖マリア女学院でナビを設定。
問合せ シスター 碓 (いかり)
☎058-229-3985 (修道院) 090-3933-3200 (Sr. 碓)

カトリック名古屋教区 セクシュアル・ハラスメント 対応委員会 ホットライン

☎080-2625-4681

受付時間 月～金(祝日を除く)
10:00～12:00
13:00～16:00

名古屋市東区葵2-6-35
カトリック名古屋教区センター
相談の秘密、プライバシーは厳守します。
安心してご相談下さい。

主にささげる24時間 ～聖体礼拝

主税町記念聖堂では月に2回、聖体礼拝が行われています。開始時と終了時にミサが行われます。どうぞご参列ください。
日時 毎月第2・第4木曜日
木曜日19:00～金曜日19:00
場所 主税町記念聖堂
名古屋市東区主税町3-33
主催 問合せ カトリック名古屋教区
名古屋教区本部事務局
☎052-935-2223
責任者 平田政信神父
携帯電話 090-1623-1170

「日本カトリック平和旬間」

8月6日(木)～15日(土)

1981年、聖ヨハネ・パウロ二世教皇は、広島で「過去を振り返ることは、将来に対する責任を担うことである」と述べられました。

戦争を振り返り、平和を思うとき平和は単なる願望ではなく、具体的な行動でなければなりません。

そこで日本のカトリック教会は、その翌年最も身近で忘れることのできない、広島や長崎の事実を思い起こすのに適した8月6日から15日までの10日間を「日本カトリック平和旬間」と決めました。「平和旬間」に広島教区と長崎教区では、全国から司教をはじめとして多くの信者が集まり、「平和祈願ミサ」が捧げられます。各教区でも、平和祈願ミサや平和行進など、平和を主題とした講演会や研修会などが行われます。

新刊書紹介

長崎と天草地方の 潜伏キリシタン関連遺産 日本のユネスコ世界文化遺産 [サンパウロ]

出版：パウルスショップ 価格：2,090円+税

2018年6月30日、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」がユネスコ世界文化遺産に登録された。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、キリスト教が禁じられている中で、長崎と天草地方において日本の伝統的宗教や一般社会と共生しながら信仰を続けた潜伏キリシタンの信仰継続にかかわる伝統のあかしとなる遺産群です。本書では、12の文化遺産とその関連遺跡を写真で紹介し、日本へのキリスト教の伝来と繁栄、禁教、そして宣教師が一人もいなくなった江戸期から、キリスト教が解禁された明治初期までの約250年におよぶ迫害と殉教の歴史の中で、キリスト教をひそかに守り続けた潜伏キリシタンたちの生きざまが綴られる。



東日本大震災・福島原発事故、災害支援金の報告

★発災時よりカリタス福祉委員会へ振込された支援金のご報告
・2011.3.17(発災後募金開始)から 2020.5.31までの合計 32,078,014円

☆2020年5月 振込された支援金
1件 2,297円 (振込手数料引き去り後の金額)
振込ご協力いただいた小教区 金沢教会

★名古屋教区の支援金は
大阪教会管区震災復興支援プロジェクト、福島での原発被災支援活動されている団体を中心に支援しています。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い致します
・毎月の支援状況は名古屋教区報で報告。
・各ベースの震災支援状況は仙台教区サポートセンター活動日記のHPに掲載。
<http://caritasjapan.jugem.jp>



支援金振込先
口座番号：00820-5-137456
名義：カトリック名古屋教区カリタス福祉委員会
※「東日本大震災・災害支援金」と募金の意向を記入願います

ご連絡・問合せ先
名古屋教区カリタス福祉委員会
電話 052-852-1426
FAX 052-852-1422

よりよい未来をひらくため

めぐみカン
ガンバレ!!
.....by あこ

なぜ私は神と出会えたのか
友達がカトリック
親が信者で幼児洗礼
では...その友は
その親はどうやって
神と出会ったのか

私たちが信仰が
イエスからとれただけの
人を介してきてきたか
伝えられてきたか

友達がカトリック
親が信者で幼児洗礼
では...その友は
その親はどうやって
神と出会ったのか

私たちの歴史
信仰の足跡
敬意をこめて
生い立ちを知る
語り部におきまかせ

忘れてはならない
身近な物語が
必ずあるはず
新約の編纂にも
価値ある大切な宝物

7月の教会暦 (祭日、祝日、祝日、祝日、記念日)

1日(水)	福者ペトロ岐部司祭と187殉教者(祝)
3日(金)	聖トマ使徒(祝)
5日(日)	年間第14主日
11日(土)	聖ベネディクト修道院長(祝)
12日(日)	年間第15主日
15日(水)	聖ポナベントウラ司教教会博士(祝)
19日(日)	年間第16主日
22日(水)	聖マリア(マグダラ)(祝)
25日(土)	聖ヤコブ使徒(祝)
26日(日)	年間第17主日
29日(水)	聖マルタ(祝)
31日(金)	聖イグナチオ(ロヨラ)司祭(祝)

8月の教会暦

1日(土)	聖アルフォンソ(リゴリ)司教教会博士(祝)
2日(日)	年間第18主日
4日(火)	聖ヨハネ・マリア・ピアンネ司祭(祝)
6日(木)	主の変容(祝)
8日(土)	日本カトリック平和旬間(15日まで)
9日(日)	聖トミニコ司祭(祝)
10日(月)	年間第19主日
11日(火)	聖ラウレンチオ助祭殉教者(祝)
14日(金)	聖クララ(祝)
15日(土)	聖マキシミアノ・マリア・コルベ司祭殉教者(祝)
16日(日)	聖母の被昇天(祭)
20日(木)	年間第20主日
20日(木)	聖ベルナルド修道院長教会

7月

21日(金)	博士(祝)
22日(土)	聖ピオ十世教皇(祝)
23日(日)	天の元后聖マリア(祝)
24日(月)	年間第21主日
27日(木)	聖バルトロマイ使徒(祝)
28日(金)	聖モニカ(祝)
29日(土)	聖アウグスチヌス司教教会博士(祝)
30日(日)	洗礼者聖ヨハネの殉教(祝)
30日(日)	年間第22主日

7月

4日(土)	カトリック看護協会・司教様との集い(中止)
9日(木)	教区顧問会*
10日(金)	正義と平和定例会
11日(土)	殉教者委定例会/信徒協幹事会/立垣神父様追悼ミサ
12日(日)	城東B会議/三河B会議/中高生会
14日(火)	難民移住移動者委員会/樹の会
18日(土)	レジオ名古屋クリア
19日(日)	城北B会議/城南B会議/青年委員会/熱田教会堅信式 ※6月から変更*
25日(土)	典礼委員会
25日(土)	北陸B子供会合同サマーカーン(中止)
30日(木)	月集/司祭月集*
3日(日)	6日(木) 青年委員会・広島巡礼(中止)
8日(土)	殉教者委定例会/信徒協役員会
9日(日)	教区平和旬間行事↓各ブ

告知板

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった行事

① 毎年8月開催の神言神学院の「待考会」

② 9月27日の「教区障害者のつどい」

③ 7月の炊き出し 木 2日(土) 9日(土) 樹の会、16日(土) 聖霊・南山・樹の会、23日(土) 城北橋、30日(土) 金 3日(土) 喜望の会、10日(土) 布池、17日(土) A J U・恵方町、24日(土) 長浦、31日(土) 南山

ヨゼフ立垣昭神父追悼ミサ
日時 7月11日(土) 14:00
場所 カトリック布池教会大聖堂
5月12日に亡くなられた立垣昭神父の葬儀、告別式は5月14日に執り行われました。追悼ミサでは無理のないように参加して下さい。

ロック単位で開催/三河B「平和祈願ミサ」

10日(月) 祝北陸B平和祈願ミサ*
13日(木) 17日(月) 教区事務所休館
14日(金) 正義と平和定例会
22日(土) 正義と平和学習会
24日(月) 28日(金) 教区司祭黙想会*
30日(日) 一粒会の集い(北陸地区)(中止)

7月

1日(水) 子どもと女性の権利擁護のためのデスク
2日(木) 常任司教委員会
13日(月) 17日(金) 司教総会

7月

1日(水) 子と女性の権利擁護のためのデスク
2日(木) 常任司教委員会
13日(月) 17日(金) 司教総会

7月

1日(水) 子どもと女性の権利擁護のためのデスク
2日(木) 常任司教委員会
13日(月) 17日(金) 司教総会

建設費の返済に協力を

618件 30,660,990円
目標額 40,000,000円 (5月末)

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

第12回 平和祈念の集い
テーマ「平和をつなぐ」
—すべてのいのちを守るため—
講演者 ミカエル松浦悟郎司教

日時 8月2日(日曜日) 13:00~14:30
場所 カトリック南山教会大聖堂 名古屋市昭和区南山町1
交通 地下鉄鶴舞線いりな駅 下車徒歩5分
主催 南山教会信徒 名古屋友の会 有志、ピース9の会(虹 ひかり あゆみ)

問合せ ☎080-3066-3433(井爪)

注) 新型コロナウイルス感染拡大状況によって開催が変更される場合は、各教会にお知らせします。

教区ニュース編集室から

平和旬間等への取り組みについて

松浦司教は今年の平和旬間の名古屋教区での取り組み方についての指針を示しました(本紙3面)。

司教座聖堂に大勢が集まり、平和について学び、ミサをささげ、行動に向けて派遣されていく昨年までの形はとらず、ブロック単位で取り組むようにとのことです。

新型コロナウイルス対策として大規模集会を避けただけではなく、平和旬間の取り組みができるだけ多くの信徒、多くの小教区での取り組みとなり、すそ野を広げたいということでしょう。

平和旬間の取り組みを考えるにあたって、司教は、平和旬間(8月6日~15日)前後の課題である「ラウダート・シ記念年間(今年5月24日~来年5月24日)」と「すべてのいのちを守るための月間(9月~10月4日)」とのつながりも考慮するように求めています。

今後も研修会や講演会を重ねて意識を深めるという進め方ができるかどうかは疑問です。そこで、小教区、グループ、個人で学び、実践につなげていく道筋を考えておられるのでしょうか。

名古屋教区ニュースでは、司教の示したこの方向性を受け、信者のみなさんの取り組みをサポートする紙面を作っていきます。

まず、来年5月までの取り組みを考えるにあたって、読んで参考にすべき文書には次のようなものがあります。

- ① 戦後75年日本司教団平和メッセージ
- ② 教皇訪日中の公式スピーチ(10本)
- ③ 教皇フランシスコ回勅「ラウダート・シ——ともに暮らす家を大切に」
- ④ 日本司教団「いのちへのまなざし」

③「ラウダート・シ」は、環境問題を中心にそれに結びつく貧困や経済、政治などの諸問題に、カトリック教会としての責任も指摘されています。④は日本司教団が20年にわたって訴え続けている現代社会の諸問題を取り上げたもの。「いのちを守る」取り組みは、カトリック教会にとっていつの時代にあってももっとも尊い課題であることが分かります。

これらの文書を読むときにヒントになるような記事を提供していきます。

みなさまからのご意見・ご感想・ご要望、その他のご協力をお願いします。

映画 赦しのちから

愛知・名演小劇場 052-931-1701
7月3日(金) 公開

キリストの愛を伝えようと映画製作に取り組むケンドリック兄弟が「ゆるし」をテーマに、ひたむきに生きる少女が自分自身と周囲を変えていく様子を描いたヒューマンドラマ。町の工場が閉鎖して市民が去り、廃部となった高校のバスケットボール部コーチのジョンは、しかたなくクロスカントリー部のコーチを引き受けるが、部員はふさがちで喘息の女子生徒ハンナ一人だけ。不平不満だらけのジョンだったが、大会の優勝めざして練習に励むハンナの姿に心境の変化が訪れる。そんな時、ハンナの運命を変える「赦し」をキーワードとする二つの大きな出会いが……。

映画 グレース・オブ・ゴッド 告発の時

7月17日公開
石川・イオンシネマ金沢フォーラス 076-231-8650
愛知・センチュリーシネマ 052-264-8580
愛知・ユナイテッド・シネマ岡崎 0570-783-669(8/28(金)~)
愛知・ミッドランドシネマ名古屋空港 0568-39-3911

2019年のベルリン国際映画祭で銀熊賞(最高賞の次点)を獲得したこの映画は、フランスでは「ブレナ事件」として知られる神父による未成年者への性的虐待事件を題材として作られた。「20年、30年経っても、なお虐待のトラウマに苦しむ男たちが、告発するまでの〈葛藤〉と、告発したことによる周囲との軋轢という〈代償〉、それでも告発によって確かに生まれた〈希望〉を紡ぎ出し、「性的虐待という暴力の恐ろしさ」と、そこから再生していく人間の力強さ、そしてそれを支える家族の愛」を描き出す(プログラムより)。今年3月に「性的虐待、性暴力、ハラスメント防止決意表明」を教区全体のものとして発表した私たちは、この映画を他人事とせず、自分たちの問題として直視したい。